

インターバンクの声（2017 年 7 月 19 日）

さえない米経済指標の発表が続き、米 FRB の年内の追加利上げが先送りされるとの見方が広がっているとあって、米国の中長期金利がまた低下している。2.3%台に落ち着き始めていた米 10 年国債利回りも再び 2.2%台に突入した。

つい 2 週間ほど前は、日米の金利差が拡大するとの見通しからドル買い・円売りに傾き始めていたことを考えると、ここ数日の米金利の低下から円高バイアスが強まるのも仕方ない。

主要指標ではないものの、昨日の米輸入物価指数や米 NAHB 住宅市場指数も市場予想を下回る内容だった。

さらにオバマケア代替法案の可決が絶望的になって、トランプ政権の政策運営に再び不透明感が漂い始めたとあっては、ポジション調整以外でドルを買う人も限られる。市場では明日の日銀金融政策決定会合や ECB 理事会の成り行きを見極めたいとする見方も多いが、今晚のニューヨーク市場の朝に発表される米住宅着工件数や建設許可件数の内容が弱いようだと一段とドル売りが進む可能性もある。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。